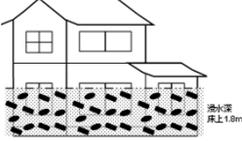
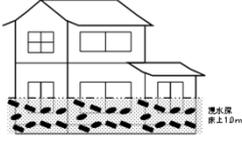
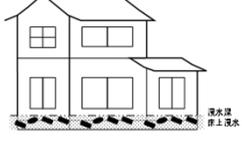
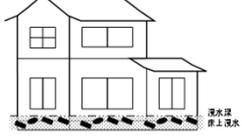
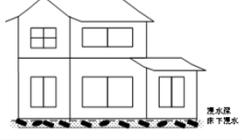


# 水害における住家の被害認定調査の浸水深判定について（比較）参考資料 1

戸建て1～2階建ての木造・プレハブ※<sup>1</sup>の場合、浸水深による簡易な判定が可能。

（被災者からの申請により、第2次調査及び再調査として、住家内へ立入り、詳細な調査を行うことも可能。）

浸水深		外力あり※ <sup>2</sup>	<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">新設</span> 外力なし
	床上1.8m以上	全壊	(第2次調査で判定)
	床上1m以上1.8m未満	大規模半壊	中規模半壊
	床上0.5m以上1m未満	中規模半壊	半壊
	床上0.1m以上0.5m未満	半壊	
	床上0.1m未満		
	床下浸水	準半壊に至らない (一部損壊)	

※<sup>1</sup> 在来工法（軸組工法）による木造住宅、枠組壁工法による住宅、木質系プレハブ住宅、鉄骨系プレハブ住宅を指す。

※<sup>2</sup> 津波、越流、堤防決壊等水流や泥流、瓦礫等の衝突等の外力が作用することによる一定以上の損傷が発生している場合。